



# 学校だより2月

【学校教育目標】「力を合わせ 笑顔が光る日限の子」

令和 6年 1月 31日

横浜市立日限山小学校

〒233-0015

港南区日限山二丁目 16 番 1

TEL 045(841)6561

## 夢や目標に向かって

副校長 江目 典子

梅のつぼみも膨らみ始め、春の兆しを感じる頃となりました。

さて、投手と打者の「二刀流」で活躍し、更に大きな夢に挑戦している大谷翔平選手。大谷選手は多くの子どもたちの憧れの人になり、その活躍は、私たちに勇気を与えてくれています。そんな大谷選手から贈られたグローブが本校にも届きました。

朝会で、グローブのお披露目とともに、大谷選手からのメッセージが紹介されました。その後、グローブは、学年ごと順番に回し、触れたり使ったりしています。グローブを手にした子どもたちの目は輝き、「おおぅ…」と感嘆の声をもらす子もいました。

「夢をかなえる秘訣は、4つの『C』に集約される。それは、Curiosity(好奇心)、Confidence(自信)、Courage(勇気)、そして、Constancy(継続)である。」これはディズニーランドの創設者であるウォルト・ディズニーの言葉です。また、イチロー選手は、「夢をつかむことというのは、一気にはできません。ちいさなことを積みかさねることで、いつの日か、信じられないような力を出せるようになっていきます。」と語っています。

大谷選手も、自分が夢中になれる野球を、自分の夢としてもち、「なりたい自分」や「こうありたい自分」を思い描き、その姿に向かって何回も挑戦しながら、努力を続けてきたことだろうと思います。

子どもたちは、4月に一年間の目標を立てました。学習や行事ごとの短いスパンで目標を立てることもあります。それぞれの目標に向かって努力する過程で、少しずつ目標をクリアして自信をつけたり、より高いものをめざす意欲をもったり、たとえ失敗しても諦めることなく再挑戦したりすることの大切さを学んでいきます。そして、それらの積み重ねによって、自分の夢や希望をかなえるためには、「自分に、今、何ができるのか」「どうしたらその目標を達成できるのか」を考えて、努力し続けられる子に育っていくのではないのでしょうか。

私たち大人は、いつでもどこでも子どもたちに寄り添い、褒めたり励ましたり、時には辛抱強く待ったりできる、子どもたちの応援団でありたいと思います。

### ～グローブに添えられていたメッセージ～

#### 学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介しますためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

